

■コメント

1 新型コロナウイルス感染症

第38週に4,661件の報告がありました。新規感染者数は減少が続いており、第6波のピーク(2022年第3週)を下回りましたが、依然として多い状況です。

マスクの正しい着用、手洗い、ゼロ密、換気など基本的な感染予防対策に加えて、体調不良時の外出自粛など一人一人が対策を徹底することが大切です。

2 梅毒

今年の累計は239件となり、非常に多い状況が続いています。梅毒は性的な接触により感染し、治療せずに放置すると、脳や心臓などに重大な病変を起こすことがあるため、早期発見・早期治療が大切です。

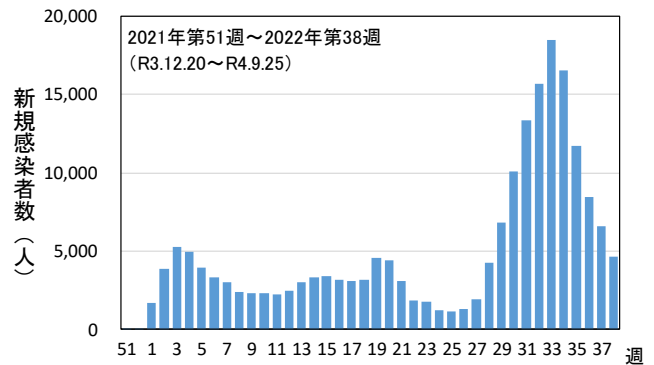
【参考】保健センターの無料・匿名の梅毒検査 <https://www.city.hiroshima.lg.jp/soshiki/72/2986.html>

3 後天性免疫不全症候群

今年の累計は8件となりました。感染の可能性のある方や不安をお持ちの方は、早期発見・早期治療、パートナーへの感染防止のため、検査を受けましょう。

【参考】HIV/エイズに関する相談と無料・匿名検査(広島市) <https://www.city.hiroshima.lg.jp/soshiki/72/108883.html>

新型コロナウイルス感染症新規感染者数の推移(広島市)



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号
フィリン	インフルエンザ	-	-	0.12		小児科	流行性耳下腺炎	-	-	0.08	
小児科	咽頭結膜熱	2	0.09	0.16		眼科	RSウイルス感染症	46	2.09	1.26	→
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	6	0.27	0.94			急性出血性結膜炎	-	-	-	
	感染性胃腸炎	42	1.91	2.72	↘		流行性角結膜炎	-	-	0.80	
	水痘	1	0.05	0.23		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	手足口病	24	1.09	1.40	↗		無菌性髄膜炎	-	-	-	
	伝染性紅斑	2	0.09	0.10			マイコプラズマ肺炎	-	-	0.09	
	突発性発しん	7	0.32	0.36			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	ヘルパンギーナ	10	0.45	0.52			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	

急増減 ↑ 前週と比較しておおむね1:2以上の増減

増減 ↗ 前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減

微増減 ↘ 前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減

横ばい ⇄ ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	35
小児科定点数	22
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況(新型コロナウイルス感染症を除く)

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	1	84	80歳代
5	後天性免疫不全症候群	1	8	20歳代・感染者
5	梅毒	3	239	20歳代・1人、40歳代・2人

■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

			インフル エンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス 感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ 肺炎	クラミジア肺炎	(ロタウイルス) 感染性胃腸炎
報告数	広島市	第34週	-	-	10	41	1	37	-	1	28	1	44	-	2	-	-	-	-	-
		第35週	-	5	4	45	1	35	-	6	17	-	43	-	2	-	-	-	-	-
		第36週	-	-	4	47	1	15	-	2	9	-	39	-	3	-	-	-	-	-
		第37週	-	2	7	49	1	20	-	16	9	-	44	-	3	-	-	-	-	-
		第38週	-	2	6	42	1	24	2	7	10	-	46	-	-	-	-	-	-	-
定点 当たり	広島市	第34週	-	-	0.43	1.78	0.04	1.61	-	0.04	1.22	0.04	1.91	-	0.25	-	-	-	-	-
		第35週	-	0.22	0.17	1.96	0.04	1.52	-	0.26	0.74	-	1.87	-	0.25	-	-	-	-	-
		第36週	-	-	0.17	2.04	0.04	0.65	-	0.09	0.39	-	1.70	-	0.38	-	-	-	-	-
		第37週	-	0.09	0.30	2.13	0.04	0.87	-	0.70	0.39	-	1.91	-	0.38	-	-	-	-	-
		第38週	-	0.09	0.27	1.91	0.05	1.09	0.09	0.32	0.45	-	2.09	-	-	-	-	-	-	-
	全国	第36週	0.03	0.06	0.29	2.15	0.05	3.77	0.02	0.27	0.88	0.04	1.60	0.01	0.19	0.01	0.01	0.01	-	-
		第37週	0.02	0.07	0.30	2.14	0.07	3.42	0.02	0.27	0.80	0.04	1.60	0.01	0.23	0.01	0.01	0.02	0.01	-

■ 広島市における新型コロナウイルス感染症の発生状況(確定日で集計)

【第38週(9月19日～9月25日)】

10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	不明	合計
774	707	523	780	843	476	246	154	150	8	4,661

【累計報告数(9月25日)現在】 ※2020年からの累計報告数です。

10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	不明	合計
29,907	29,958	32,642	32,973	32,903	21,701	11,897	8,757	7,248	329	208,315

新型コロナウイルス感染症の相談窓口
コールセンター(積極ガードダイヤル) TEL:082-241-4566
全日24時間対応

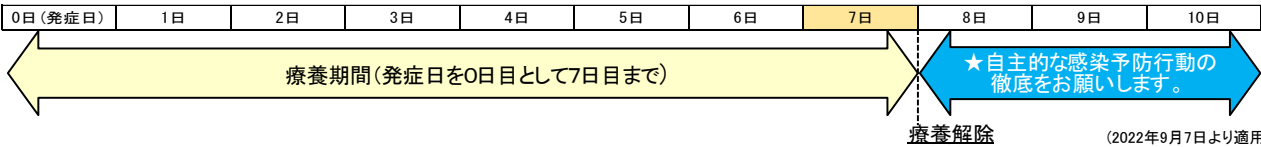
* 新型コロナウイルス感染症に関する最新の発生状況、相談窓口等については、広島市ホームページ「新型コロナウイルス感染症に関する情報(<https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/korona/>)」からご確認ください。

【参考】新型コロナウイルス感染症の療養解除基準について

「症状がある方」(病院に入院している方や高齢者施設に入所している方を除く)

原則、発症日を0日目として7日目までが療養期間となります。ただし、症状軽快(※)が7日目以降となった場合は、症状軽快後24時間まで療養期間が延長となります。(※)症状軽快とは、解熱剤を使用せずに解熱し、かつ呼吸器症状が改善傾向にあることです。

【例】6日目までに症状軽快した場合(病院に入院している方や高齢者施設に入所している方を除く)



「症状がない方」

検体を採取した日を0日目として7日目までが療養期間となります。ただし、5日目の抗原検査キットによる検査で陰性を確認した場合には、6日目に療養が解除となります。

★症状がある場合は10日間、症状がない場合は7日間が経過するまでは、感染リスクがあります。

検温など自身で健康状態を確認すること、高齢者等ハイリスク者との接触、ハイリスク施設への不要不急の訪問、感染リスクの高い場所の利用や会食等を避けること、マスクを着用すること等、自主的な感染予防行動の徹底をお願いします。

【詳しくは以下をご参照ください。】

- ・新型コロナウイルス感染症の療養中の注意事項等について(広島市) <https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/korona/291440.html>
- ・新型コロナウイルス感染症と診断された方へ 療養期間について(広島県) <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/corona-kanjya.html#1>

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。
 なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。
 URL<https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/infectious-disease/>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
 TEL(082)277-6575FAX(082)277-5666E-Mail:ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp